

国語総合（古文） 授業指導計画

授業者

1. 日 時 令和4年2月9日（水） 第5時限
2. 実施場所 11HR教室（南館2階）
3. H R 11HR
4. 生徒観 現代とは違う、軍記物語に描かれた武人の生き方・ものの考え方の特色や人間関係などの考察を通して、古典への興味を広げさせる。また時代の背景を理解し、この時代独自の語法・文法・表現などに目を向けさせ、和漢混交文の魅力を理解させる。
5. 単 元 「平家物語」木曾の最期
6. 本時の目標 ①言葉による見方・考え方を働かせ、それぞれの人物の言葉から思いをつかむ。
②正確な根拠を持って科学的に思考し、他者との協議により深い学びにつなげる。

7. 本時の展開

| 時間 | 指導事項 | 留意点 |
|-----------|---|---|
| 導入 5分 | 本時の目標と活動について説明を行う。 | 前時の内容を振り返り、押さえるべき内容を確認する。 |
| 展開 35分 | 木曾義仲・巴・今井四郎の人物像について感想を述べ合う。 騎馬の数字の変化の意味について考える。 義仲・今井の対話（言葉の受け答え）を丁寧分析していく。 武士として、人間としての義仲と今井のあり方についてまとめる。 | 筋の展開と、人物の性格に注意するよう指示する。 戦いの場面の緊迫性などに留意させる。 表現の奥にある心理を読み取るよう示唆する。 共通点と相違点を立場と性格のそれぞれについて検討していく。 |
| まとめ 5分 | 本時のポイントを確認し、内容をまとめる。 | 具体的な場面展開を確認する。 |